

JIS

一般用 V ベルト

JIS K 6323 : 2008

(JBMA/JSA)

平成 20 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京電機大学
(委員)	江 村 智 之	(元)日本プラスチック工業連盟
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	田 中 誠	財団法人鉄道総合技術研究所
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	林 田 昭 司	社団法人日本化学工業協会
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	中 田 亜洲生	昭和シェル石油株式会社
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 28.5.25 改正：平成 20.3.20

官 報 公 示：平成 20.3.21

原 案 作 成 者：日本ベルト工業会

(〒105-0003 東京都港区西新橋 3-11-7 近藤ビル TEL 03-5733-4340)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 種類	1
4 構造	1
5 断面形状及び基準寸法	2
6 Vベルトの長さ及びその許容差	2
7 性能	5
7.1 引張強さ及び伸び	5
7.2 屈曲回数及びプーリの軸間距離の変化率	6
8 試験方法	6
8.1 長さの測定	6
8.2 引張試験	7
8.3 屈曲疲労試験	7
9 製品の呼び方	10
10 表示	10
附属書 A (参考) Vベルトの使い方	11
解 説	26

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ベルト工業会 (JBMA) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって **JIS K 6323** : 1995 は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

一般用 V ベルト

Classical V-belts for power transmission

序文

この規格は、1953年に制定され、その後8回の改正を経て今日に至っている。今回はVベルトの寸法のうち長さについて、実態を踏まえて見直しを行い改正した。

なお、対応国際規格は、現時点では制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、一般に用いられる動力伝達用の継目のない輪形のVベルト（以下、Vベルトという。）について規定する。ただし、自動車用Vベルトを除く。

注記 Vベルトの使い方を、附属書Aに示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS Z 8401 数値の丸め方

3 種類

Vベルトの種類は、次の5種類とする。

M, A, B, C 及び D

4 構造

Vベルトの構造は、ゴムと心線とを含む台形断面の周囲にゴムを塗布した布で覆った構造、又はゴムと心線とを含む台形断面の上下面にゴムを塗布した布を重ね合わせた構造とする（図1参照）。